小学生の部　入選

飛騨市立古川小学校　五年　山腰有馬

　古川祭とは、毎年四月十九日と二十日の二日にわたって行われる祭りだ。古川祭は、ユネスコ無形文化遺産に登録されている日本がほこる祭りだ。飛騨市の子供は、祭りが始まるずっと前から、夜おそくまで日々練習をする。そして、本番の日になると日々練習してきたことを全力で出しきる。地域によっては、ふえや屋台などがある。自分が住んでいるところはふえだが、ぼくはまだ五年生で、ふえは六年生からなので来年からふえになる。そして、古川祭の一番の見どころは、起こし太こだ。十九日に行われる起こし太この下にたくさんの支える人がいて、その上に立っている人がいて、太この一番上にいる人が太こをたたく。この時は、いっぱいの観光客や地元の人が見に来る。とてもはくりょくがあって、男たちが声をあげる。ぼくは、この起こし太こをほこりに思う。なぜなら、昔から受けつがれてきた起こし太こを今なお受けつごうとしている地元の人たちが、ぼくはとても地元のほこりだと感じているからだ。そして、今起こし太こを受けついだ人たちがまた、次の世代へと受けつごうとしている。

　このように、古川祭は長い歴史があり、それを飛騨市民が受けついできた日本がほこる祭りである。そして、古川祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたことによって、観光客はふえていった。古川祭は、やがて日本がほこる祭りではなく世界がほこる祭りになっていった。ぼくは、こんなにもすばらしい祭りを受けつぎ、そして、来年からは仕事があるので飛騨市民として古川祭に少しでもこうけんできるようにがんばっていきたいし、他の人もみんな祭りのためにがんばっているので、ぼくは、他の人よりも人一倍がんばれるように、日々練習をつみ重ねて、本番でその成果をはっきできるようにしていきたいと思うし、大人になっても受けつがれている祭りを受けつぎたいです。